

農林水産省 選考採用業務説明（一般職技術系）

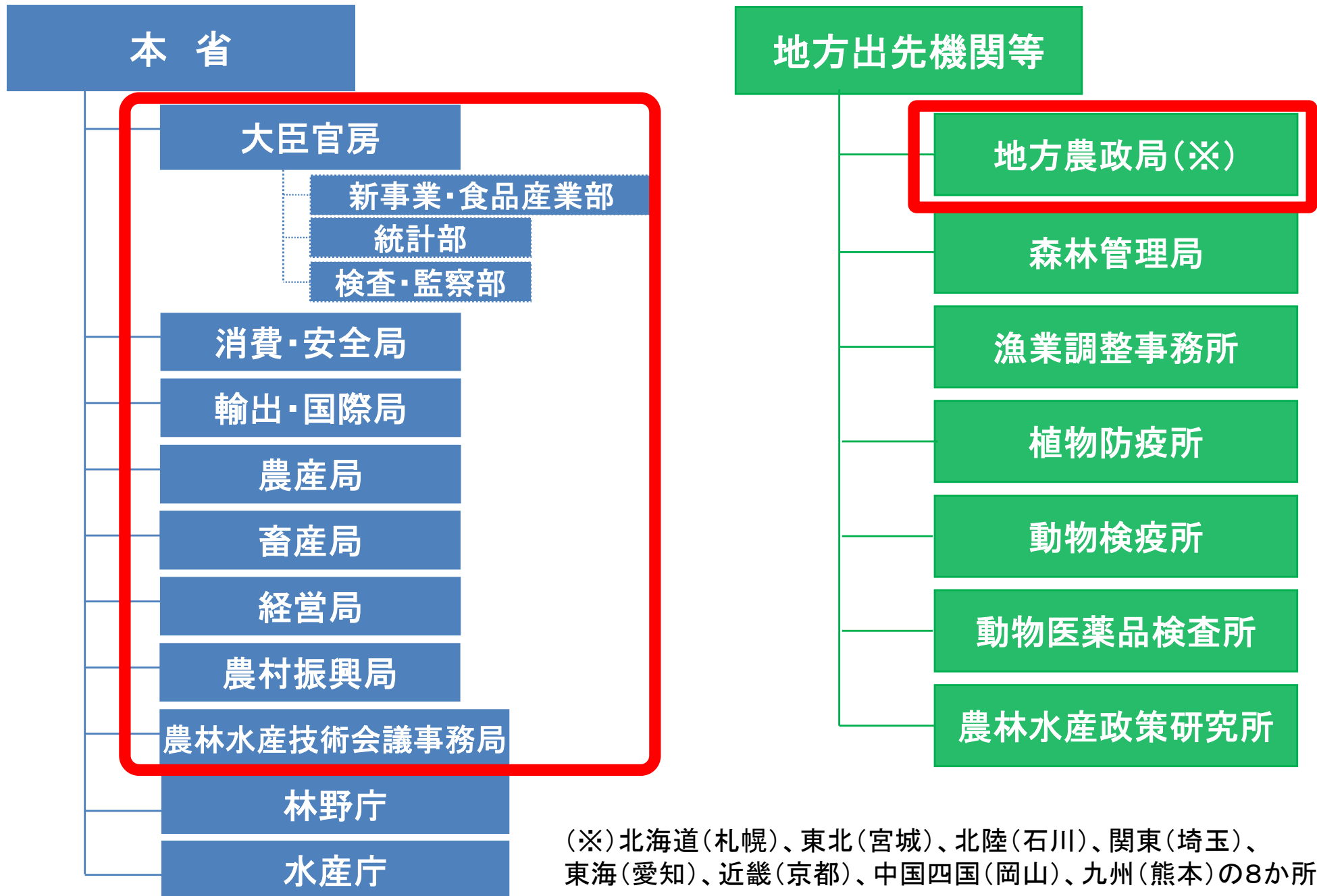
農林水産省

農林水産省のビジョン・ステートメント

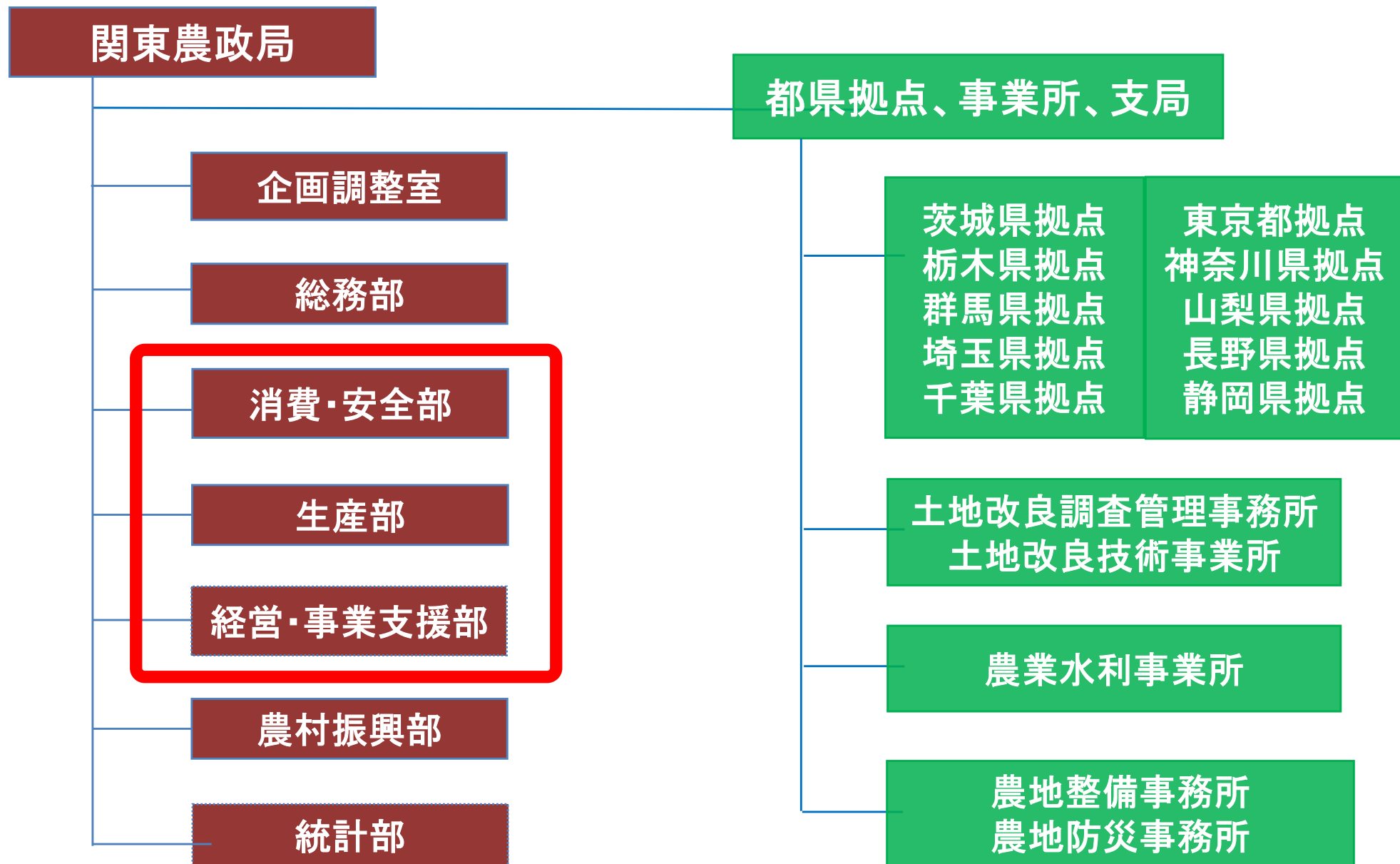
わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

農林水産省の組織①

本省と地方出先機関等



農林水産省の組織②（関東農政局）



農林水産行政の流れ

「食」や「農」を取り巻く様々な課題をどうすれば解消できるのか？
農業の成長産業化のため、どのような仕掛けが必要か？

政策の企画・立案（主に本省）

- ・基本的な方針の作成
- ・課題の設定

- ・政策手法の検討
（法令、事業等）

- ・政府内、外部との調整
- ・法令作成、予算の確保

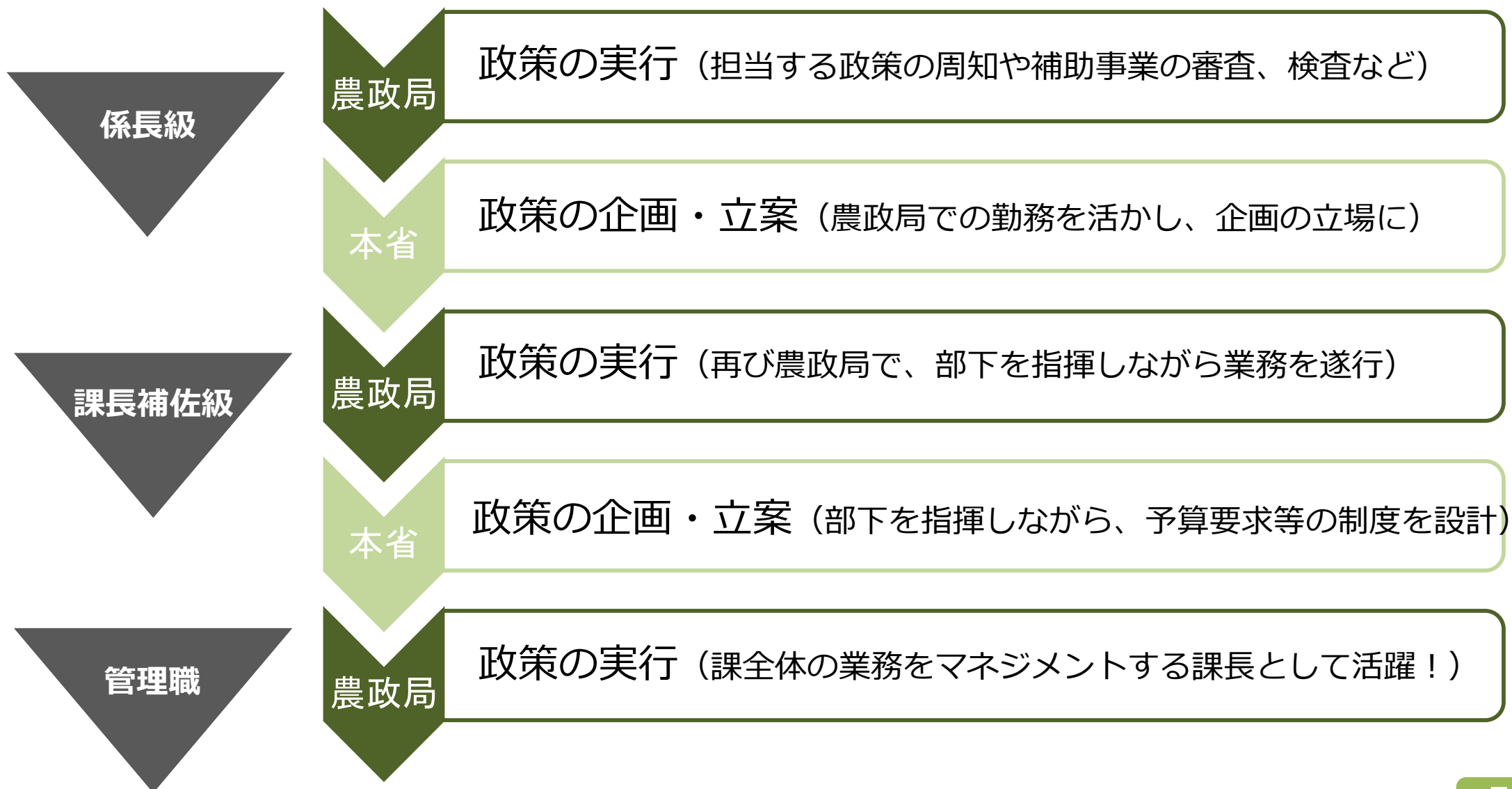
政策の実行（主に地方農政局）

- ・政策の現場への周知
- ・法令、事業等の執行
（交付、検査等）

- ・政策情報の収集
- ・現場の問題点の把握

一般職農業技術系のキャリアイメージ

- 希望された農政局と本省（霞が関）を中心におおむね**2～3年程度で異動**します。
- 人事異動に際し、**職員の希望を定期的に聴取**しています。



募集職種と業務分野（技術系）

➤ 一般職の場合は、専門分野のスペシャリストとして、活躍していきます。

農業技術系

【生産部】
生産振興課
環境・技術課
園芸特産課 など



- 業務内容●
- ・農作物の生産振興
 - ・スマート農業等の農業技術の普及
 - ・環境対策の推進
 - ・農業分野の環境政策推進 など



畜産技術系

【生産部】
畜産課
など



- 業務内容●
- ・畜産物の生産振興・輸出促進
 - ・自給飼料の生産拡大
 - ・畜産分野の環境対策の推進
 - ・動物及び畜産物の出入検疫 など

消費安全系

【消費・安全部】
農産安全管理課
など

- 業務内容●
- ・農畜水産物・食品の安全性向上
 - ・農薬使用の指導
 - ・食品表示の適正化
 - ・食育 など



地方農政局での仕事風景①



高収益作物の生産・需要拡大現地検討会の様子
@近畿農政局

麦・大豆に関連する支援策（補助事業）の説明
@九州農政局



米粉普及に関するイベントにおいて、地元テレビ局の取材対応
@北陸農政局

親子花育セミナーで参加者に説明している様子
@東海農政局



地方農政局での仕事風景②

災害対応



政務出張随行



生産者説明会



資料作成



打合せ



情報収集



補助事業関連視察



BUZZMAFF撮影



電話対応



データ整理



PRイベント



オンライン会議



自治体説明会



働き方について

- 全職員に持ち出し可能な端末(セキュア端末)が配布され、全職員が新しいソフトウェア(**Microsoft M365 E5(Teams等)**)を活用できるシステム環境となっています。

通信環境が大幅に改善！

- ・広帯域で高セキュリティの回線が配備。
- ・庁舎内LANは、高速なWifi(Wifi6)通信が可能に。



持ち出し可能な端末

- ・全職員に、高機能、高セキュリティ機能を備え軽量端末(セキュア端末)が配布。
- ・庁舎外でも携帯電話の電波が届く場所であれば、業務が可能。



コロナを経て働き方が変革しています！！

Teams等の利用で働き方が変革！

- ・Teamsは、チャット、ウェブ会議、ファイル共有、ファイルの共同編集といった機能が集約された新しいコミュニケーションツール。
- ・ライセンスは全職員に配布され、誰でもウェブ会議を開催。

- ・Teamsのほか、データ分析ができるPowerBI、業務を自動化できるPowerAutomateなども全職員利用可能。



BYODで外出先でもコミュニケーションOK！

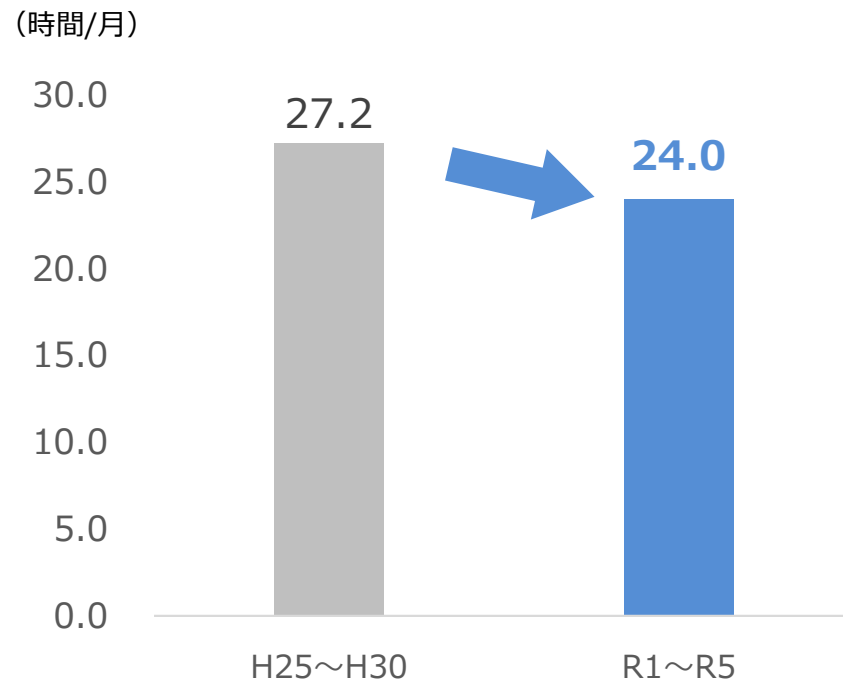
- ・私物スマートフォンに、Teamsなどのアプリケーションをインストールすることが可能。
- ・これにより、外出中でも、チーム会合に参加することが可能。また、写真などの映像をTeamsに投稿することができるので、例えば、災害現場の状況などをリアルタイムに報告することが可能。

(注)BYOD: 私物端末の業務利用



働き方について②

超過勤務時間（本省）



- 超過勤務時間は**減少傾向**
- 毎週、水曜日と金曜日は定時退庁日

年次休暇取得日数（R5）

- 年次休暇取得日数は**15.3日**
- 「月イチ年休」取得を推進

テレワーク・フレックスタイム制の活用

- 働く時間と場所の柔軟化を推進
- 自宅等で勤務を行うテレワークや、勤務時間を柔軟に調整できるフレックスタイム制を活用し、仕事と家庭生活を両立させています。

働き方について③

男性・女性職員ともに、生き生きと輝ける働きやすい環境づくりに取り組んでいます。

育休取得率 男性:84.0%、女性:100.8%

(令和5年度)

(参考)

外務省	男: 42.3%、女: 92.7%
厚労省	男: 97.2%、女: 102.7%
経産省	男: 72.2%、女: 109.3%
国交省	男: 73.4%、女: 114.0%
環境省	男: 68.8%、女: 110.5%

▶ R4年度から、子どもが生まれた男性職員は「1ヶ月以上育児に伴う休暇・休業を取得する」ことが前提となり、省全体で男性の育児休業取得を推進しています。

農林水産省に併設された保育園



(例) 育児と両立する場合

【女性】出産～育児休業

- ・産前休暇(産前6週間前から出産の日まで)
- ・産後休暇(出産の翌日から8週間)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

【男性】配偶者の出産～育児休業

- ・配偶者出産休暇(出産時の付き添いで2日)
- ・育児参加のための休暇(妻の産前産後期間中に5日)
- ・育児休業(子が3歳に達するまで)

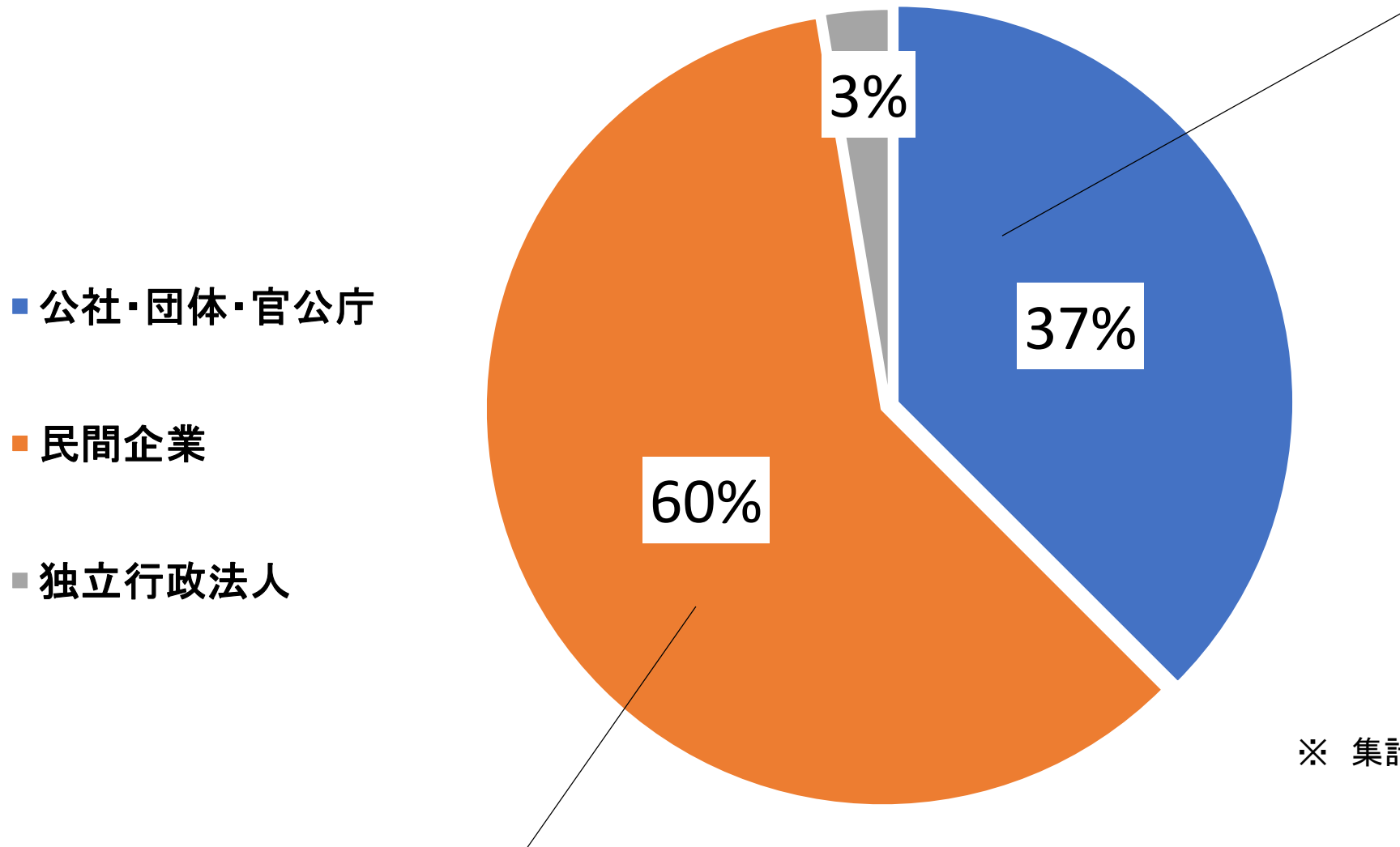
【育児休業復帰後】仕事と育児の両立

- ・育児短時間勤務(通常よりも短い勤務時間で勤務)
- ・子の看護休暇(年5日)
- ・テレワーク、フレックスタイム制



(参考) 選考採用職員（一般職技術系）の前職

他省庁、県庁、市役所・区役所・町役場、大学、研究機関など出身は多岐に渡ります！



※ 集計対象はR2～R6入省者

食品メーカー、化学メーカー、コンサル、農協、IT企業、建設会社など業種は様々！